

2020年 年頭所感



学 長 佐々木 重人

明けましておめでとうございませう。本学創立140周年となる2020年がいよいよ始まりました。本学は、創立140周年プロジェクトの核となるキャンパス整備と教育改革を途切れることなく進めてまいりました。まず、そのシンボルタワーとして完成目前の神田10号館(140年記念館)が、この4月より運用開始となります。そして、10年の人間科学部新設、19年の文学部ジャーナリズム学科設置および経営学部ビジネスデザイン学科設置、そして20年の国際コミュニケーション学部設置は、本学の21世紀ビジョン「社会知性の開発」の骨子をそれぞれ具現化したものと

なり通いやすく、かつ学びやすくなりませう。これと同時に、行われる経済学部の再編(経済学を廃止し、新たに現代経済学、生活環境経済学を新設)は、経済事象の現況および近未来を見据えた対応となります。同じく法学部

は、早期(3年間)卒業制度と法科大学院教育を連結させる新たな法曹教育システム(法科大学院進学プログラム)を本格的にスタートさせます。こうした基幹部分の改革にあわせて、障がい学生支

・国際コミュニケーションの各学部、経済学・法学・商学研究科(大学院)および法科大学院が集結します。世界最大級の古書店街を擁し、豊富なカフェやグルメでも有名な神田神保町に、新学生街(神

部が転出することで、教室や諸施設といったインフラには余裕が生まれ、より利用しやすくなることと見込めます。また、各学部の講義内容や教員の研究アプローチを見ること、統計的手法やビッグデータサイエンス(ヒルズ)となる

「タサイエンス(ヒルズ)」となることが可能と考えます。この目的のため、「データサイエンス研究助成制度」も新たに立ち上げました。さらに、本年を国連サミットで採択されたSDGs(持続可能な開発目標)のため、本学が何をすべきなのかを定める基盤の年にしてほしいと

「Knowledge Base」のイメージパース



神田10号館の呼称は「専修大学140年記念館」



は生田キャンパス9号館(120年記念館)と同じような呼称にした方が分かりやすいと考えた。「シンプルな呼称とすることで、140周年のアニバーサリーにふさわしく、今後150年、160年に続いていくようにとの願いを込めた」と話した。



理事長 日高 義博

新年のお慶びを申し上げます。令和元年は、台風、洪水など災害の多い年でありましたが、今年は、平穏な一年であることを願っております。昨年、石巻専修大学では、9月16日に創立30周年記念式典を挙げて、専修大学では、創立140周年記念事業の完了に向けて、さまざまな改革並びに建設工事等が同時並行的に進みました。すでに、学生サポートセンター(神田9号館)は完成し、靖国通り新校舎も竣工間近です。新校舎の名称は、「専修大学140年記念館(神田10号館)」です。これも、皆様方のご支援・ご協力の賜物です。お礼を申し上げるとともに、今年も一層のご支援・ご協力をお願いいたします。

石巻専修大学では、経営学部を改組して、学際的な新学

石巻専修大学創立30周年記念事業の推進のために、1億3000万円余の寄付をお寄せいただきました。また多くの校友・育友・関係者等からも多額の寄付をいただきました。本学の大学運営に対する心のこもったご支援に対し、

個人や展示会などによって文化の香りの漂う空間になればと思っている次第です。また、カレッジ・スポーツの振興には力をいれているところと見込めます。大学全体として、素晴らしい成績を上げていく部が多くなりました。しかし残念ながら、待望の箱根駅伝は予選会を突破できず、野球部も神宮球場に返り咲く

した。司法試験合格者は7人、公認会計士試験合格者は23人のうち現役合格者が13人でした(1月6日現在)。特記すべきは、昨年度に続き、2年次で合格をした者がいたことと見込めます。現役合格も凄いことですが、2年次で合格することというのは素晴らしいことです。また、国家公務員採用総合職試験には6人が合格しま

した。年々、合格者が増えていきます。間もなく入学試験の時期に入ります。昨年は、専修大学の志願者が5万9000人を超え、目標の5万人を突破しました。本学におけるこれまでの大学改革の取り組みが、受験生に評価された結果と受け止めております。志願者数は、大学の心臓の鼓動であり、今年も志願者増になることを期待しております。

今年9月には、専修大学が創立140周年を迎えます。これまでの大学改革を省察するとともに、創立150年に向けての本学の基本構想を提示する必要があります。これまでは、記念事業を完遂させることに邁進してきましたが、令和2年を迎え、心機一転して、9月の創立記念日を

「専修大学140年記念館」



ス)、レセプションなどを行う最上階のホールは創立者の一人の名を冠し「相馬永胤記念ホール」とする。また、1階のカフェは「SENDAI Kaffee」に決まった。10号館の呼称については学生、大学院生、教職員から156件の応募があった。このうち「専修大学140年記念館」としたのは岩見誠也さん(経済4)の提案。岩見さん

創立150年へ構想提示

4月からは経済学部が3学科体制となります。キャンパスに新たな風が流れることと思

る充足に加え、学生を基本に据えた大学改革を断行しなければなりません。尾池守学長が創立30周年記念式典で打ち出された斬新な改革構想を速やかに実現できるように、法人としても尽力していきたいと思

4月にオープンする専修大学140年記念館(神田10号館)の最上階には、「相馬永胤記念ホール」と「鳳サロ

ことができませんでした。選手たちの顔を見ると悔しい思いが伝わってきます。あと一歩の踏ん張りだと思ひます。スポーツ支援強化策の効果が出てくると思ひますので、現場の精進を信頼し、一層の支援、声援をお願いします。一方、各種国家試験については、嬉しい成果が見られま

した。年々、合格者が増えていきます。間もなく入学試験の時期に入ります。昨年は、専修大学の志願者が5万9000人を超え、目標の5万人を突破しました。本学におけるこれまでの大学改革の取り組みが、受験生に評価された結果と受け止めております。志願者数は、大学の心臓の鼓動であり、今年も志願者増になることを期待しております。

今年9月には、専修大学が創立140周年を迎えます。これまでの大学改革を省察するとともに、創立150年に向けての本学の基本構想を提示する必要があります。これまでは、記念事業を完遂させることに邁進してきましたが、令和2年を迎え、心機一転して、9月の創立記念日を

「専修大学140年記念館」



ス)、レセプションなどを行う最上階のホールは創立者の一人の名を冠し「相馬永胤記念ホール」とする。また、1階のカフェは「SENDAI Kaffee」に決まった。10号館の呼称については学生、大学院生、教職員から156件の応募があった。このうち「専修大学140年記念館」としたのは岩見誠也さん(経済4)の提案。岩見さん

専修大学フィルハーモニー管弦楽団 第47回定期演奏会

専修大学フィルハーモニー管弦楽団(王伸子団長)の第47回定期演奏会が12月13日、川崎市のカルツかわさきで開催され、メンバーはアンコールを含め全5曲を力強く演奏した。小澤和也氏の指揮によるメインのカリニコフ交響曲第1番では、演奏後「ブラボー！」の声や拍手に包まれた。学生代表の大石里菜さん(文3)は「緊張感あるなか、楽しんで演奏ができた。聴きに来てくれた方々に満足してもらえたと思う」と話した。